平成25年10月10日発行

第217号

地球通信

学校法人　国際ことば学院
国際ことば学院日本語学校
〒422-8076 静岡市駿河区八幡3丁目2-28
TEL 054-284-8383 / FAX 054-284-8338
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.kotoba.ac.jp/ ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ info@kotoba.ac.jp

10月生来日

2013 年度 10 月生が来日しました。オリエンテーション、プレスメントテストを行い 10 月 4 日にクラス発表がありました。どこのクラスに入ったかドキドキしながら自分の名前を確認する学生たち。思いがけない日本の暑さに驚きながらも、教職員の指導に従って、日本の生活に不可欠な様々な手続きを済ませ、10 月 7 日から晴れて授業をスタートしました。まだまだわからないことだらけとは思いますが、ことば学院には優しい先輩が沢山いるので、初心を忘れず、頑張って日本語を勉強して、これから 1 年半、有意義な学院生活を送ってほしいものです。

なお、10 月生の入学式は、11 月 9 日（土）に本学院にて挙行いたします。

入学式のお知らせ

＜入学式＞

日時：平成２５年１１月９日（土）
午前１１：００～１１：４５
場所：国際ことば学院日本語学校　ホール

＜対面式・懇親会＞

時間：午後１２：００～１３：３０
場所：国際ことば学院日本語学校　２階教室

※関係者の方には後日ご案内をお送りします。

秋の文化祭まで後、2日…。

本学院の大イベントの一つである「秋の文化祭」が数日後に迫りました。下記の予定になっております。

日時：　**平成25年10月12日（土）**
＜学習・文化展＞　午後１２：００より
＜ステージ発表＞　午後１３：３０～１５：５０（１３：００会場予定）

場所：　**静岡市民文化会館　中ホール**
（静岡駅より徒歩２０分、バス・タクシー１０分）

内容：　**盛りだくさん**　　**※入場無料**

10 月 1 日は**留学生のど自慢大会**に出場する学生たちの予選会が行われ、熱戦が繰り広げられました。学生たちが選んだ日本の曲、そして予選に勝ち残ったのは果たしてどの組でしょうか。

（右写真　予選会の様子）

お国自慢に出場する各国の学生たちも、秋休みや土日を利用して学校のホールで練習をしたり、放課後も近所の公園で打ち合わせをするなど完璧なパフォーマンスを披露するために仕上げに取り掛かっています。今回はどこの国がどんな演技を見せてくれるのでしょうか。

1 年生の出し物では 10 月生が新たに加わり、今回はＪ・Ｋ・Ｌ・Ｍ・Ｏのクラス単位で発表を行います。各クラスどんな色のステージを見せてくれるのでしょうか。エネルギー溢れるフレッシュなパフォーマンスをご覧下さい。

そして、今回の**スペシャル企画「俺のステージ」**。留学生の歌・パフォーマンス・作品そして彼らの情熱が静岡市民文化会館にて発表されます。たくさんのご来場をお待ちしております。

モンゴル訪問レポート

モンゴル人留学生の記憶

海外事業部　野田敏郎

私が最初にモンゴル人留学生に出会ったのは、今からもう 17 年も前のことです。チェコのカレル大学のモンゴル国籍の学生で、おっとりとしていながらも確固たる独自の外国語習得法を持っていて、日本語の他、チェコ語、ドイツ語、英語、韓国語、など多言語を操る女子学生でした。次に出会ったのはその彼女のお姉さんで、正真正銘モンゴルから来日したモンゴル人留学生でした。いつも私のことを「ヌォド先生」と呼び、私はモンゴル人特有の発音の特徴を個人的に研究していました。その次に出会ったのは 2000 年に入ってからで、日本語の全くわからない 10 代の男女 3 人組が 10 月生として来日しました。成田から学校まで自力でたどり着いた時のことを鮮明に記憶しています。それから数年にわたり、ことば学院では大勢のモンゴル人留学生がやってきます。記念すべき第 1 回目の文化祭では「モンゴル相撲の土俵入り(？)」を披露し、本学の理事長とステージ上で相撲を取ったりと、日本語教師生活初期の楽しい思い出です。そういえば、モンゴル人学生が来なくなって久しいな。彼らは今どう生きているのだろうか。想いがあふれてきます。

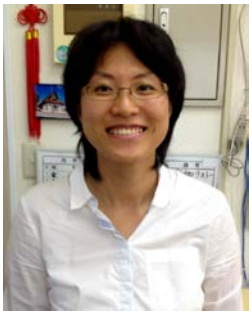
さて、そんなモンゴルに業務で出張することになり、先月はじめて訪問しました。ウランバートルでは交通渋滞、大気汚染と、どこの国の首都でもおなじみの問題を抱えておりました。それにしても走る車の高級なこと。ハイブリッド車や背高・幅広の 4 輪駆動車がやけに高い比率で走行しています。渋滞を抑制しようと政府は車のナンバーによる走行乗り入れ制限を行います。しかし、だったら違うナンバープレートの車を 2 台用意すればいいと、一家に 2 台も普通だとか。そんな経済成長著しいモンゴルですが、目につく看板は、日本では馴染みのない企業のものばかりです。キリル文字以外には朝鮮半島の文字を目にします。最近は大学日本語学科では就職先が見つからず、日本へ留学を考える学生が増えつつあるようです。

以前に本学が受け入れていた頃とは隔世の感のある現代のモンゴル。訪問したのは中秋のころでしたがすでに氷点下で粉雪が舞っていました。そんなモンゴルで言う秋の空の下、かの国の学生たちは日本に向けて、期待に目をきらきら輝かせていたのです。

職員紹介

国際ことば学院日本語学校に新たに日本語講師・事務職員が加わりました。二人の先生に自己紹介をお願いしました。

こんにちは。9月半ばから1階の事務室で働いています、川勝智未です。私はサイクリングが好きなので休みの日はロードバイクに乗っています。皆さんの国の自転車事情について知りたいのでよかったら教えて下さい。少しでも早く学生みんなの顔と名前を覚えたいので、私を見かけた時は話しかけてくらたら嬉しいです。これからよろしくお願いします。



はじめまして、白川ひかりと申します。10月から国際ことば学院日本語学校に勤めることになりました。中国に二年間住んでいました。様々な国と地域から来た皆さんと出会うことが出来て、とても嬉しいです。授業で、そして授業以外でも一緒に沢山話しましょう。海外で出会った友達と先生は宝物です。たくさん友達を作りましょう。そして一緒に勉強を頑張りましょう。これから、どうぞよろしくお願いします。

ご寄付ありがとうございました。

来日した 10 月生の新生活のために使用いたします。
伊藤様　布団・鈴木様　冷蔵庫・赤堀様　棚・食器

引き続き本学院にてご寄附を募っています。ご家庭で使用していない、炊飯器・冷蔵庫・電子レンジ・洗濯機・布団・毛布・食器などありましたらご寄附お願い致します。

事務所ＴＥＬ：０５４－２８４－８３８３

＜編集後記＞

本学院の秋と言えば文化祭。2 年生にとっては最後の文化祭です。文化祭の準備の傍ら進学の準備をしている学生も増えてきました。何か大きな事を仲間たちと協力して手掛けることは留学生活の中でとても思い出に残る時間となります。思い残すことのないように十分に盛り上がってもらいたいです。そして新入生たちもこのイベントを通してクラスの仲間やことば学院に少しでも早く溶け込めるように楽しんでもらいたいです。（長島）